

平成 13 年 8 月 8 日
第四管区海上保安本部水路部

海 洋 概 報 (平成 13 年第 7 号)

(伊勢湾流況調査)

1 調査概要

調査期間	流況調査	:平成 13 年 7 月 10 日		
	流況調査	:平成 13 年 7 月 25 日		
	流況調査	:平成 13 年 7 月 27 日		
調査海域	伊勢湾			
	別図「流況調査 測点」参照			
調査船	測量船「いせしお」			
現地調査員	水路部水路課海象係長	木村 琢磨		
	“ “ 海象係員	福良 博子		
	測量船「いせしお」船 長	山本 常夫		
	“ “ 機 関 長	石原 信雄		
	“ “ 主任機関士	吉岡 直行		
	“ “ 航海士補	渡部 千尋		
	京都大学助手	笠井 亮秀		
	“ “ 大学院生	赤嶺 里美		
調査項目	流況調査	:水温・塩分		
資料整理	海象係長	木村 琢磨、海象係員	福良 博子	

2 観測経過

7月10日及び25日は、天候・海上模様共に良く、7月10日については St.4 の横断測線の観測を含め、全測点の観測を実施することができた。

また、7月27日は、天候は良かったが、台風6号の影響による南よりのうねりと風浪があり、観測には苦慮したが、St.4 の横断測線の観測を実施した。

3 海況（成果は別図参照）

流況調査（伊勢湾）

7月10日

水温： St.1～4の上層及び St.3の底層は、平年に比べ1～2高かった。

St.5の上層は、ほぼ平年並みであった。

その他の地点においては、平年に比べ1～2低かった。

塩分： 表層付近に河川水流入による低塩分水が見られなかった。

その他の地点は平年に比べ1～3高かった。

7月25日

水温： 各測点の上層は、平年に比べ3～4高かった。

St.1～5の中・下層は、ほぼ平年並みであった。

St.6の中・下層は、平年に比べ1～2高かった。

塩分： St.1～5の表層は河川水流入による低塩分水が見られなかった。

St.6の中層・下層は、ほぼ平年並みであった。

その他の地点は、平年に比べ1～2高かった。

7月27日

水温： 表層付近は平年に比べ2～3高かった。

その他の地点は、ほぼ平年並みであった。

塩分： 表層付近に河川水流入による低塩分水が見られなかった。

その他の地点は、平年に比べ1～2高かった。

7月10日と25日の比較

St.1～5の上層が高温高塩分水化していた。

ただし、一部が低温高塩分水化していた。

St.6～St.7の上層が高温低塩分水化していた。

全般的に高温水化していた。

* 使用した平年値は、「三重県水産技術センター研究報告第6号（平成8年10月）伊勢湾における海況の季節変化」に基づいている。